

武蔵野教育學論集第14号： 目次,執筆要項,編集後記,奥付

メタデータ	言語: ja 出版者: 武蔵野大学教育学研究所 公開日: 2024-01-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000131

武蔵野 教育学論集

第 14 号

目 次

幼児向けテレビ番組と幼児のジェンダー規範の形成に関する研究動向 -NHK『おかあさんといっしょ』に着目して-	松 田 こそえ	1
福島県における5歳児の肥満傾向児の推移 2006年～2020年データを用いた分析	峰 友 紗・坪 井 聡	13
新教育指針(1946)第二分冊(全四分冊)に関する考察 -現代教育の源流を探る-	上 岡 学	21
気体濃度測定を伴う実験における測定機器及び使用植物に関する基礎研究 -小学校理科における「燃焼」「光合成」の実験を通して-	樋 口 昇	33
図画工作の授業構造図の作成を通して授業の改善の視点をつくる	大 杉 健	43
「立地調整」概念の獲得をめざす小学校社会科工業学習の実践学的検討	佐 藤 克 士・大 矢 幸 久	55
中学校国語科における学習指導要領と文法論の関係	勸 米 良 祐 太	71
用法に焦点を当てた文法指導は学習者のピリーフと学習方略を変えるのか	渡 辺 英 雄・長 坂 勇 太 郎	85
教室文化における「自ら進んで対話しようとする意思」(WTC)養成の課題 -Small Talkの分析を通じて-	中 川 洋 子	95
コロナ禍を踏まえた特別活動を通した学級づくり	松 井 香 奈・上 岡 学	109
小学校6年生における自然体験とゴミ意識・環境意識に関する調査 ～導入期の中国における環境教育への提言～	鄭 雨 薇・高 橋 典 嗣	117
中華人民共和国の中等地理教育における自然災害に関する学習内容の分析(2) -義務教育中学「地理」課程標準及び準拠版教科書(第8学年)を事例として-	王 禹 軻・佐 藤 克 士	131
中学校地理教育における日中教科書比較研究(1) -「アジア」に関する学習内容を事例にして-	孫 穎 群・佐 藤 克 士	145
中華人民共和国の高校地理教育における自然災害に関する学習内容の分析(1) -高等学校「地理」課程標準及び準拠版教科書を事例として-	喬 涵・佐 藤 克 士	161
◆◆◆ ◆◆◆		
薬師寺東塔擦銘の研究 -刻書前半部とその背景について-	廣 瀬 裕 之・漆 原 徹・遠 藤 祐 介	196

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 14

CONTENTS

Trends in Research on Television Programs and the Formation of Gender Norms in Young Children: Focusing on NHK's "Okaasan to Issho"	MATSUDA Kozue	1
Fifteen-year trends of Obesity in Five-Year-Old Children in Fukushima, Japan: A joinpoint regression analysis of data from 2006 to 2020	MINE Tomosa / TSUBOI Satoshi	13
Guidelines of Japanese New Education (1946) Vol. 2 of 4	UEOKA Manabu	21
Fundamental Research on Measuring Instruments and Plants used in Experiments Involving Gas Concentration Measurements: An examination of experiments on "combustion" and "photosynthesis" in elementary school science	HIGUCHI Noboru	33
Developing Perspectives for Class Improvement through the Creation of Class Structure Diagrams for Arts and Crafts	OHSUGI Takeshi	43
A Practical Study of Industrial Learning in Elementary Social Studies for the Acquisition of the Concept of "Location Adjustment"	SATO Katsushi / OYA Yukihisa	55
The relationship between the Course of Study and Grammatical Theory in Japanese as a Secondary School Subject	KAMMERA Yuta	71
Does teaching the use aspect of grammar change learners' beliefs and learning strategies?	WATANABE Hideo / NAGASAKA Yutaro	85
Promoting Willingness to Communicate in Classroom Culture: Through an Analysis of Small Talk	NAKAGAWA Yoko	95
Classroom management based on Extra-curricular activities during the coronavirus pandemic	MATSUI Kana / UEOKA Manabu	109
An Investigation on Nature experience, Garbage Awareness and Environmental Awareness among 6th Grade Elementary School Students ~ Recommendations for Environmental Education in China in the Introduction Phase ~	ZHENG Yuwei / TAKAHASHI Noritsugu	117
An Analysis of Learning Content on Natural Disasters in Secondary Geography Education of China II: A Case of Compulsory Secondary Education Course Standards in Geography Using an 8th Grade Textbook	WANG Yuka / SATO Katsushi	131
A Comparative Study of Japanese and Chinese Textbooks in Junior High School Geography Education I: Using the Content of Learning about "Asia" as an Example	SUN Yingqun / SATO Katsushi	145
An Analysis of Learning Content on Natural Disasters in High School Geography Education of China I: The Case of Compulsory High School Education Course Standards in Geography Textbooks	QIAO Han / SATO Katsushi	161
◆◆◆◆ ◆◆◆◆		
A Study of Central Cylinder Signature of the East pagoda in <i>Yakushi-ji</i> Temple: The First Half of the Carved Calligraphy and Its Background	HIROSE Hiroyuki / URUSHIHARA Toru / ENDO Yusuke	196

武蔵野教育學論集執筆要項

2013年10月10日制定
2016年7月14日改正
2019年7月11日改正
2021年9月1日改正
2023年2月7日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文または制作ノートに投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教育学研究所研究員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) 共同研究の場合は(1)(2)が連名であれば、編集委員会での審議の上、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教育学研究所から依頼した者
- (5) その他、編集委員会が認めた者
- (6) 本学大学院生（ただし、院生単独は不可。指導教員との連名とする。）

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野教育學論集投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること

6 投稿規定

A 学術論文

- (1) 原稿は未発表のものに限る。

- (2) 原稿は、第1著者論文は単著・共著にかかわらず1人1編に限る。
- (3) 但し、次の場合は、最大2編投稿することができる。
 - ①単著1本+共著(第2著者以下)1本
 - ②共著(第1著者)1本+共著(第2著者以下)1本
 - ③共著(第2著者以下)2本
- (4) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (5) 同号の制作ノートを投稿した者は、原則として、学術論文を投稿することはできない。
- (6) 字数等
 - ①頁数・字数
10ページ程度(注、図表、写真、その他、を含む)を原則とする。
*横書きの書式は、1ページ43字×38行とする。
*縦書きの書式は、1ページ30字×25行の2段組とする。
*図表、写真は適宜文字数に換算する。
*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることが出来る。
 - ②用語及び文体等
現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。
 - ③書式
別表の書式例参照のこと。
- (7) 校正
原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

B 制作ノート

- (1) 研究作品写真を用いた制作ノートを投稿することができる。
- (2) 研究作品は、原則として、その年度内に制作(展覧会等での発表を含む)したものとする。
- (3) 同号の学術論文を投稿した者は、原則として、制作ノートを投稿することはできない。
- (4) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像(写真又はデータ)を提出するものとする。
- (5) 頁数等
 - ①頁数
4ページ以内【研究作品掲載(カラー)1ページ、及びその解説等3ページ以内(白黒)】とする。
 - ②その他
*学術論文に準ずる。
- (6) 校正
*学術論文(7)に準ずる。

7 掲載の採否・順序等

- (1) 掲載の採否は、査読を経て、編集委員会が決定する。

- (2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。
- (3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。
- (4) 執筆者には、紀要 5 部、別刷 20 部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷 20 部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

本要項は、「武蔵野教育学論集」第 15 号の執筆・編集から施行する。

***編集後記**

新型コロナウイルス感染症の流行が第8波を迎えた。新たにオミクロン株対応2価ワクチンが追加接種用として加わり、新型コロナワクチン接種は、多い人ですでに5回目となるが未だ収束する気配を見せない。1月下旬、10年に1度という寒波到来で各地の気温が零下を記録した。

教育学科では今年度から卒論が全員必修となり、要旨集の発行と、全員が発表する初の卒論発表会の時程が組み込まれた。

幼児教育学科では、学科の成果発表である「表現発表会」の開催をコロナ禍で2年ほど中止していたが、今年度は感染対策を考慮した上で、発表会を開催した。

ここに第14号が完成。執筆された方々に深く感謝申し上げます。

次号より新しい執筆要項で募集・編集いたします。本号に新執筆要項を掲載しました。よろしくお願ひ申し上げます。

(紀要編集委員 廣瀬・高牧)

武蔵野教育学論集 第14号

2023年3月10日発行

編 集 武蔵野教育学論集編集委員会

発 行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印 刷 株式会社 創文

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町13-1

電話 03-5643-3320

【武蔵野大学教育学部における紀要発行の歴史】

通号	名 称	発行年月日	発 行
1	教育研究所紀要 第1巻第1号	2012・3・1	教育研究所
2	教職研究センター紀要 第1巻第1号	2013・3・1	教職研究センター
3	第2号	2014・3・1	教職研究センター
4	第3号	2015・3・1	教職研究センター
5	第4号	2016・3・1	教職研究センター
6	武蔵野教育学論集 創刊号	2017・3・1	* 教職研究センター
7	第2号	2017・8・15	教育学研究所
8	第3号	2017・9・1	教育学研究所
9	第4号	2018・3・1	教育学研究所
10	第5号	2018・9・30	教育学研究所
11	第6号	2019・3・1	教育学研究所
12	第7号	2019・10・1	教育学研究所
13	第8号	2020・3・1	教育学研究所
14	第9号	2020・10・10	教育学研究所
15	第10号	2021・3・10	教育学研究所
16	第11号	2021・10・10	教育学研究所
17	第12号	2022・3・10	教育学研究所
18	第13号	2022・10・10	教育学研究所
19	第14号	2023・3・10	教育学研究所

* 2017・4・1より教育学研究所設立により紀要名を先行して改称